

ミャンマーで「ワンヘルス講演会」が開催されました



令和6年1月25日(木)、ミャンマー・ヤンゴンにてミャンマー獣医師会及びミャンマー畜産連盟共催の「ワンヘルス講演会」が開催され、講演会の前には、ミャンマー獣医師会幹部との会談が行われました。



ミャンマー獣医師会会長
Dr. Tin Ngwe

その後、「ワンヘルス講演会」が行われました。

藏内FAVA会長は、「日本におけるワンヘルスの取組」と題して講演をされました。



藏内勇夫会長は講演の最後に以下のように述べられました。

人獣共通感染症の発生するリスクの高いアジア地域において、我々獣医師や医師が連携して新たな人獣共通感染症に備えることが大変重要です。

そして、人獣共通感染症はもとより、地球規模での薬剤耐性菌問題や生態系の保全、畜産物の生産性向上による食糧の安定供給など、獣医師の専門性が必要とされる領域は、極めて多岐にわたっています。

こうした地球規模の課題は、一国のみでは解決しえない問題であり、国際的に連携して取り組んでいかなければなりません。

アジア・オセアニア地域の獣医師会の連合である、アジア獣医師会連合(FAVA)のネットワークが大きな役割を果たすものと考えています。

私は、このFAVAの強力なネットワークをもって、獣医界の発展はもとより、より良い社会の構築に貢献したいと考えています。



ミャンマー畜産連盟相談役
Dr. Than Hla